平成28年度行政評価 事務事業評価シート（平成27年度実績）

事務事業コード	030101050	予算コード	01015600	従事人員（人）		投入コスト（千円）		評価	評価点
事務事業名	地域福祉推進事業			正規職員数	0.76	国庫支出金	0	有効性	B
担当課	障害福祉総務課			嘱託職員数	0	府支出金	4,448		
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0.2	市債	0	効率性	B
	■条例・規則　■要綱・要領			歳出（千円）		その他	0		
	泉佐野市社会福祉法人の助成に関する条例 泉佐野市福祉推進事業費補助金交付要綱			人件費総額	6,640	一般財源	39,123	妥当性	B
						減価償却費	0		
						事業費	36,931	受益者負担	該当なし
事務事業類型	団体育成事業（評価分）			フルコスト（千円）			43,571	緊急性	B
実施手法	補助・負担			市民1人当りコスト（円）			432		
対象				活動指標		H27実績		公的関与	B
特定の団体		対象数		ボランティア登録人数			132.0		
社会福祉協議会、保護司会、更生保護女性会、原爆被害者協議会				日常生活自立支援事業相談件数（延べ）			604.0	実施主体・委託化	B
事業の内容				社会を明るくする運動関連集会開催回数			15.0		
社会福祉協議会等の各種団体への助成及び事業補助。				原爆被害者協議会会員数			46.0	他の事務事業との関連	A
				成果指標		H27実績		透明性	B
				ボランティア活動人数（延べ）			2,143.0		
				日常生活自立支援事業サービス提供訪問回数			1,470.0	財政健全化計画	該当なし
				社会を明るくする運動関連集会参加者数			1,865.0		
								財政健全化の取組	該当なし
				コスト指標		H27実績		改革改善プラン達成度	該当なし
事業の目的				ボランティア活動人数1人当たりの事業費			391.0		
誰もが安心して暮らしていける社会を形成するために、地域やボランティア、各種団体が主体性を持って取組む活動及び福祉推進活動のセンターとなる社会福祉協議会を支援することで、これらの動きを市域全域に広げ、地域福祉を活性化させることを目的とする。				日常生活自立支援事業サービス提供訪問1回当たりの事業費			1,629.0		
				社会を明るくする運動関連集会参加者1人当たりの事業費			500.0		
				原爆被害者協議会会員1人当たりの事業費			978.0		

一次評価	B
地域住民自身が福祉のまちづくりを推進する気概を醸成していくため、社会福祉協議会を始めとした地域福祉推進活動を実施する団体を支援し、市全域において助け合い、支え合う地域の確立を目指している。地域での要援護者の増加や課題の多様化などから、地域で支え合う共助の仕組みの基盤は重要となってくることから、今後支援は拡充していくことが望ましいが、財政事情等を勘案し、現状維持を確保する。	

事務事業実施内容
社会福祉協議会等の各種団体への助成及び事業補助を実施した。